

No 27

平成29年度 港区事務事業評価シート

評価対象

事務事業名	麻布地区保育園地域開放	開始年度	平成 9 年度
所属	麻布地区総合支所管理課管理係		
所管課長	麻布地区総合支所管理課長		
基本政策	5 明日の港区を支える子どもたちを育む		
政策名	(22) 就学前児童ケアサービスを総合的に推進する		
施策名	④ 子育て支援サービスの充実		

事業概要

事業の目的	家庭において子育てを行う保護者に、区立保育園の持つ力を活用し、楽しく子育てができるように支援するとともに、地域との交流体制を広げることを目的として実施します。
事業の対象	家庭において子育てを行う保護者と就学前の子ども
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当施設：港区立麻布保育園、港区立飯倉保育園、港区立南麻布保育園、港区立西麻布保育園、港区立本村保育園</li> <li>・開催回数及び時間：毎月1～2回、1時間半～2時間程度</li> </ul> <p>「保育園であそぼう」事業を通して次のことを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親（保護者）子で集まれる場、安全に遊べる場の提供</li> <li>・参加者同士の親睦・交流の機会の援助</li> <li>・保育園の職員が助言・指導を行い、正確な育児情報を提供するほか、必要に応じた個別相談</li> </ul>
根拠法令	児童福祉法、港区地域在宅子育て支援制度事業実施要綱

事業の成果

指標	指標1	開催回数（回）			指標2	延べ参加者数（人）			指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成27年度	170	72	42.4%	平成27年度	2,600	972	37.4%	平成27年度			
平成28年度	120	75	62.5%	平成28年度	1,000	875	87.5%	平成28年度				
平成29年度	120	—	—	平成29年度	1,000	—	—	平成29年度		—	—	

成果の概要  
(指標の説明等)

・事業を実施することにより、保護者が育児の悩みや心配事を保育士に相談することができ、内容によっては、随時実施している保育園カウンセリング（臨床心理士・家庭心理士）に繋げることもできているため、子育て支援の一助になっています。また、保育園が実施する各種行事や試食会などへの参加により、地域の参加者同士の交流が生まれるとともに、情報収集の機会にもなっています。

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成27年度	146	146	0	0	0	0	0	0	146	139	95%
平成28年度	148	148	0	0	0	0	0	0	148	138	93%
平成29年度	146	146	0	0	0	0	—	—	—	—	—

予算・決算に関する特記事項

事務事業を取り巻く状況等	
コスト削減の工夫・余地	少額の経費で実施しており、削減の余地は少ないですが、引き続き印刷物は両面コピーで作成したり、保育園紹介をホームページの閲覧にするなど、低コスト化に努めます。
区民ニーズや要望（今後の需要見込み）	保育園ならではの大型遊具を使用した遊びを希望する親子が多くいます。離乳食・乳児食の試食会希望や相談が多いです。
他団体等の取組状況（類似事業の有無）	さまざまな自治体等において、実施されています。
区関与の必要性（実施する必要性）	児童福祉法において、自治体として地域子育て支援に取り組むよう示されており、事業実施は必須です。
前年度の最終評価及び付帯意見	継続
事業の課題	地域子育て支援という本来の目的に対し、実際の利用者の一部からは試食会等を目的とした視点でのニーズや要望に置き換わっており、目的と実態の乖離があります。また、そうした視点でのニーズや要望は、日常保育を実施しながらの少ない経費での実施体制の範囲を超えるものであり、物理的にも対応困難な状況があります。
次年度へ向けた事務の改善点（付帯意見への対応等）	事業への参加者数を今後増やしていくためには、限られた予算の中で、ホームページやザ・AZABUなどの地域情報紙を活用しながら、周知徹底を図る必要があります。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 必要性	4	家庭における育児不安などを抱える子育て世帯の支援として、地域に開かれた事業であるため、今後も事業継続が必要です。
② 効果性	5	保育園を活用しながら、地域において子育てを行う保護者同士が互いに育児の話ができる時間や場所となり、交流が図られています。
③ 効率性	4	既存の施設を利用し、必要最低限の経費で実施しているため効率的です。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充      ● 継続      ○ 改善      ○ 廃止      ○ 統合
・拡充は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を拡充（拡大または充実して実施）する必要があるもの。 ・継続は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を継続（現状の内容で実施）する必要があるもの。 ・改善は、「拡充」「継続」「統合」「廃止」に該当しないもので、事務事業の手段、手法を見直しサービス内容等を改善すべきもの。 ・統合は、効果性、効率性の向上が見込まれるため、他の事務事業と整理統合を検討すべきもの。 ・廃止は、事務事業の廃止を検討すべきもの。	
<b>所管課による評価の理由（事業に対する取組方針）</b> ※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	児童福祉法や保育所保育指針において、保育所は地域の子育て支援という社会的役割を担う必要性が明記されており、今後も事業継続の必要性は高いものと判断できます。

No 28

平成29年度 港区事務事業評価シート

評価対象			
事務事業名	麻布地区区長と区政を語る会	開始年度	平成 18 年度
所属	麻布地区総合支所管理課管理係		
所管課長	麻布地区総合支所管理課長		
基本政策	-		
政策名	(29) 参画と協働により互いの顔が見える区政運営を推進する		
施策名	③ 区民参画の推進		

事業概要	
事業の目的	区政に関する区民の需要を的確に把握するため、区民各層から意見・提案を聴取し、区政への反映を図り、区民参加による区政運営を推進します。
事業の対象	区内在住・在勤・在学者
事業の概要	<p>区長が区民と懇談を行い、区政に関する意見を聴取します。</p> <p>【開催時期】 総合支所で年1回          【開催場所】 総合支所内会議室など          【参加者】 公募による区民（在勤・在学者含む）、区長、総合支所の管理職など          【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度「商店街の地域コミュニティの拠点としての役割と商店街振興について」</li> <li>・平成24年度「アートを活用したコミュニティ形成について」（麻布地区）</li> <li>・平成25年度「安全・安心・快適に住み続けられる麻布のまち」（麻布地区）</li> <li>・平成26年度「さまざまな文化・世代が交流する、安全・安心な地域コミュニティづくりについて」</li> <li>・平成27年度「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした麻布地区における国際交流の推進と外国人との協力・連携について」</li> <li>・平成28年度「10年～30年後の輝くあなたと麻布のまちについて」</li> </ul>
根拠法令	港区集団広聴実施要綱

事業の成果												
指標	指標1	参加者数(人)			指標2				指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成27年度	10	7	70.0%	平成27年度				平成27年度			
	平成28年度	10	13	130.0%	平成28年度				平成28年度			
	平成29年度	10	-	-	平成29年度		-	-	平成29年度		-	-
成果の概要 (指標の説明等)	<p>平成28年度は、当初予定の10名を超えて13名の参加がありました。区長が区民と直接懇談することにより、地域に係わる問題や防犯対策、港区の将来についてなど、区の重要な課題等について、地域に住む区民ニーズを直接把握・聴取することができました。</p> <p>また、いただいた貴重な意見・提案については、関係課へ情報提供し、区民参画の推進に寄与しました。</p>											

事業費の状況(単位：千円)											
年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成27年度	40	40	0	0	0	0	0	0	40	24	60%
平成28年度	42	42	0	0	0	0	0	0	42	31	74%
平成29年度	43	43	0	0	0	0	-	-	-	-	-
予算・決算に関する特記事項											

事務事業を取り巻く状況等	
コスト削減の工夫・余地	手話通訳、飲料、会議録翻訳に係る必要最小限の経費で実施しているため、更なる削減は困難です。
区民ニーズや要望(今後の需要見込み)	参加者からは、区長と直接懇談することができて良かったという意見をいただいています。直接、意見や要望を伝えたいという区民ニーズはあります。区民の意見が直接区長に伝えられる場として貴重です。
他団体等の取組状況(類似事業の有無)	【港区】 パブリックコメント(各所管課)、町会・自治会連絡会(各総合支所で実施、質問・問合せ事項への回答など) 【他区】 23区中、19区が類似事業を実施しています。 (出典：平成29年5月各区への電話及びホームページ調査結果)
区関与の必要性(実施する必要性)	区長が直接区民等から、広く意見・提案を聴取する場として、今後も施策推進に活用していく価値があります。より効果・効率的な実施方法についての検討は今後も必要です。
前年度の最終評価及び付帯意見	継続
事業の課題	・参加者の募集を広報みなど、掲示板へのポスター掲出等で行っていますが、より多くの幅広い人に参加してもらうために、地域事業開催時等に説明の時間を設けたり、チラシを配布する等のPRも必要です。 ・集団広聴がすべて地域単位のみとなっており、テーマによっては全区的・横断的な取組みも検討する必要があります。 ・在勤者への参加促進のために、近隣の企業・商店等へのPRを検討することも必要です。
次年度へ向けた事務の改善点(付帯意見への対応等)	・参加者の募集、事業の事前広報について、検討が必要です。また、活発な意見交換を実現するために、魅力あるテーマ設定や事前に説明してご意見等を伺うことも検討する必要があります。

一次評価(所管課による自己評価)		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 必要性	4	区長が直接区民から広く意見・提案を聴取する場として、また、区民が区長と直接話ができる場の確保として、今後も施策推進に活用していく価値があります。
② 効果性	4	参加者数は予定人数を超え、直接、区長が区民等の意見・提案を聴取して交流を深めることができ、そこで出された意見・提案を施策に反映出来ることから、事業の有効性や効果は確保されています。
③ 効率性	4	個別計画策定の際のパブリックコメントなど、限定されたテーマで区民から意見を聴く場は別に存在します。幅広く意見交換できる場としての効果・効率性があります。 経費は妥当ですが、実施手法については、テーマ設定や事前周知方法など、効果・効率的な実施体制に向けた改善の余地があります。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 廃止	<input type="radio"/> 統合
・拡充は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を拡充(拡大または充実して実施)する必要があるもの。 ・継続は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を継続(現状の内容で実施)する必要があるもの。 ・改善は、「拡充」「継続」「統合」「廃止」に該当しないもので、事務事業の手段、手法を見直しサービス内容等を改善すべきもの。 ・統合は、効果性、効率性の向上が見込まれるため、他の事務事業と整理統合を検討すべきもの。 ・廃止は、事務事業の廃止を検討すべきもの。					

所管課による評価の理由(事業に対する取組方針) ※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	区長が区民等の意見・提案を直接聴取し、いただいた意見・提案を関係課へ情報提供し、区民参画による区政運営の推進に役立てるため、継続すべき事業であると評価します。 一方で、女性及び幅広い年齢層、在勤者の参加を増やすため、事前周知や募集方法について工夫が必要です。 魅力あるテーマ設定や活発な意見交換のためには、麻布地区内のテーマにとどまらず、幅を広げた視点も必要です。全庁的なテーマ(街づくり・環境・福祉など)での開催は、各支援部においても実施可能であり、総合支所と支援部の共同開催や、支援部による開催を検討する必要があります。
---	--